



三春中学校だより

第 65 号

発行日 平成31年 2月28日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【自ら求めて、自ら動く！ ～納得こそ何かを乗り越えるための大きな拠り所です。～】

先日、出勤すると、校長室の床の上に滴が垂れて濡れていました。お茶は飲んでいないので水が器からこぼれたわけではないし、靴も濡れていなかったし、何だろうとその滴の上方を見ると、観葉植物の葉っぱの縁に水がたまっていました。このたった水が滴となって床に落ちていました。そういえば、前日の退勤時に、この植物にもたっぷり水をあげてから退勤したのです。必要としないものは身体に受け入れないで外へ出してしまっていたのです。

ふっと考えました。校内の雑巾がけの雑巾はいつもきちんと整えられて雑巾がけに掛られています。校庭で寒い中、朝練に取り組む生徒の数は日に日に増えてきています。放課後の校庭では、やじろべいのように野球部が一生懸命に体幹を鍛えるため竹にぶらさがって腰を回しています。

“自ら求めて、自ら動く”数々ある選択肢の中から自ら決断・選択し、粘り強く、たくましく挑戦し、夢をもち、夢を実現させる。どうやら、主体的に物事に粘り強く取り組める、そのもとはそんなことがあります。三春中学校がこれまで歩んできた道、これから歩もうとする道に間違いはなさそうです。“共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに”



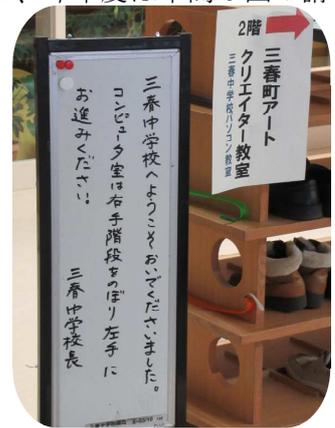
【自ら求めて、自ら動く！ ～アートクリエイターをめざし励んでいます。～】

2月24日(日)、本校を会場に、『三春町アートクリエイター教室』が開催されました。『三春町アートクリエイター人材育成協議会』という組織が実施主体となり、FSGカレッジリーグ国際アートアンドデザイン大学校や株式会社福島ガイナックスなどの関係団体と共に、今年度は年間6回の講座がもたれたそうです。

当日は、20名ほどの参加者のもと、本校パソコン室を会場に、『デジタルイラスト講座』に取り組みました。うけうりですが、デジタルイラストというのは、専用のソフトを使い、パソコンやタブレットでお絵描きをすることをいうのだそうです。講師の先生の言葉が難しすぎて、わたしの能力ではよくわかりませんでした。できあがった作品はとてもきれいに仕上がっていました。

講座終了後には、『終了式』が行われ、副町長様、教育長様をはじめとして、たくさんのご来賓・関係者のみなさんのご参加のもと、アートクリエイターをめざした1年間の講座が終了いたしました。参加者のみなさん、関係者のみなさん、お疲れさまでした。

自らの進路を夢み、日々の学校生活を大切にしつつ、具体的に自らの『夢』にいたるための準備を積み重ねていくことは、まさに、『自ら求めて、自ら動く』という三春中学校のめざす方向性にマッチしたものとなっています。『子どもと教師の夢が共に育つ』三春町です。



【卒業式の予行でこんなお話をしました。】

【平成30年度三春町立三春中学校卒業証書授与式予行式辞】

先週の日曜日、誰もいない学校の中を回って歩きました。教室に差し込んだ日差しはとても暖かそうでしたが、やはり、学校には、みなさん一人ひとりの姿があるのがいちばん似合っています。

間もなく卒業を迎える122名のみなさん、中学校を卒業し、『自立』した大人となるための足がかりを築くことができましたか。また、202名の在校生のみなさん、3年生に替わって三春中学校を、さらによりよい学校にしていかなければならないという『覚悟』はもてましたか。今日の予行の日から2週間、卒業生が巣立った後も、在校生が3年生とお別れした後も、三春中学校の生徒として、『忠恕』・『探究』・『必達』のめざす生徒像のもと、『喜びと生きがいのある人生を主体的に創造できる人』になれるよう、『覚悟』をもって生活して行ってほしいと思います。卒業生だけではなく、大人の入口のすぐ近くにいる存在として、どんな『覚悟』をもってこの2週間を生活していったらいいか、『共に』考えてまいりましょう。

『自立』のためには、自分や自分たちで考え、粘り強く取り組み、課題を解決できる力が必要です。その力が、今の自分に、そして、自分たちにあるかどうかの具体的な質問をこれから4つします。自他を振り返り、これから2週間の三春中学校の生徒として活動する上での指針としましょう。

一つは、みなさんは、『自分を分析する力』と『課題を解決する力』がありますかという問いです。自分や自分たちはどんな存在で、どんなよさや課題をもっているか、そして、その課題を解決する力をもっているかという、『自己分析力』と『課題解決力』が備わっていることが、『社会』の中で信頼され、充実感をもって生きていくために必要です。みなさんの年代は、『自分探し』の年代と呼ばれます。誰もが通り、みんなが悩む問題です。悩んだときにこそ、その悩みをしっかりと自覚し、まずは、今の自分に何ができるかを考えてみてください。問題の原因を他人のせいにならず、怖がらずに、ありのままの自分を受け入れ、今の自分にできることを『共に』話し合い、『共に』考えていくことで、進もうとする道は自然と見えてきます。昔の中国の孫子という人の書物に、『彼（かれ）を知らず己（おのれ）を知らざれば戦うごとに殆（あやう）し』とあります。自分のことも相手のことも知らないで何かを成し遂げようとしてもほとんど不可能だという意味です。まずは、自分自身を分析し、『共に』問題を解決していく力があるかどうか、自分や自分たちの『今』を振り返ってみましょう。

次は、みなさんに、『集団生活のルール』は身につけていますかという問いです。みなさんがやがて必ず飛び込んでいく『社会』というところは、さまざまな考え方をもった人たちの集まりです。その中で互いに理解し合いながら、励まし合い、協力し合って生きていくことは、意外に難しいことです。昨年度、三春中学校に勤務し、今年度の三春中学校の先生方には、『連携・コミュニケーション』というテーマを提案しました。「それぞれの『ふつう』を三春中学校の共通理解へ」ということも繰り返しお話ししました。互いに理解し合うためには、我慢ではなく、もっと積極的に自分の考えを、相手にわかるように伝えることが大切です。互いの立場を尊重し、考えを伝え合い、解決策を探っていく。そして、決まったら、あとは、全員が心一つに行動していくことが肝心です。この2週間は、みなさんが所属する『社会』や『集団』の中で、それぞれの役割を果たし、成長していくための時間にしていきましょう。

そして次は、みなさんは、『多様な考えを認めつつ、本当に大切なものを見極める力』は身につけていますかという問いです。先ほど、「それぞれの『ふつう』を三春中学校の共通理解へ」というお話をしました。先生方をはじめ、みなさん一人ひとり、その生い立ちや成長してきた足取りはさまざま、当然、そこで培われた考え方や行動パターンもさまざまです。そんなさまざまな考え方をもった人たちが一つところに集まって生活するのですから、『食い違い』や『ずれ』が生じるのは当たり前です。そんなときこそ、自分たちが所属している『社会』や『集団』の存在する意義について話し合ってみましょう。三春中学校の教育目標は、『人がいても、いなくても、自分で考え、粘り強く取り組み、課題を解決できる人間になろう』というものです。その実現のため、先生方は一生懸命話し合い、協力し合っています。目標を立て、活動し、活動を振り返るときも、『本当に大切なものは何か』ということをいつも頭において考えれば、自然と課題は解決に向かいます。問題が起こりそうなとき、『本当に大切なもの』を『共に』見極め、『共に』解決のための努力をしてください。

最後に、あなたは、『命の輝き』をどれくらいもっていますかという問いです。卒業式の前々日、あの『3.11東日本大震災』から、丸8年が経過します。『かけがえのない命を大切に』、『震災・原発事故からの一日も早い復興を』など、数々のメッセージが発せられてきました。8年を経過し、『ここに、命、今、ある』ということがとても大切であり、それ自体が『命の輝き』です。生きてくても生きられなかったすべての人たちを思い、自分たちの未来を、さらに輝きあふれるものとしていくことこそ、今を生きる私たちに課せられた役割ではないかと考えます。わたしの好きな言葉に、『一所懸命』・『一隅を照らす』というものがあります。世の中に大きな貢献はできないが、自分が今、与えられた場所で、『共に』、『ひたむきに』、そして、『こころ豊かに』過ごし、自分のしたことが、たった一人でもいい、その人の生きる道筋を照らす一筋の光となればそれでいい。そう思い、毎日、校門に立っています。

ここまで4つの事柄についてお話ししました。難しいお話もりましたが、もうすぐ『一人立ち』するみなさんならきっとわかってくれるだろうと信じ、お話ししました。受験期を迎えた3年生のみなさんは、悩みや不安をかかえつつ、それでも、自分に負けず、『一隅を照らす』してきました。『共に』、『ひたむきに』、そして、『こころ豊かに』、今しなければならぬことをがんばろうと、『一所懸命』でした。『忠恕』、『探究』、『必達』とは何かを追い求めてきた1・2年生にとって、3年生は、まさにお手本となる『先生』です。1・2年生は、これからも自分たちと先生方とで、『共に』、『ひたむきに』、そして、『こころ豊かに』生き、自分自身を知り、語り合い、支え合い、励まし合い、それぞれの成長をめざしていきましょう。それが、3年生に対する『恩返し』です。

今日の予行は、2週間後の卒業式の動きなどを理解する機会ですが、今日の予行から卒業式の日まで、それぞれが、三春中学校のこれまでをしっかりと振り返り、未来をどう生きていったらいいのかについて『覚悟』を決める日といたしましょう。『忠恕』、『探究』、『必達』のめざす生徒像のもと、自分や他の人のために学び、人を許し、仲間を愛し、心も体も健康で、自分と同じくらい相手を大切に、自分以外の命のために自らの時間を分け与えることに喜びを見いだす日々であってほしいと願います。

三春中学校から巣立っていく3年生のみなさんにとって、3月13日の卒業式が、これまでの義務教育9年間の『学び』の集大成の日となりますよう心より期待し、卒業証書授与式予行の式辞といたします。

